

滑津のほとり

3学期の登校日数は、47日。短いことは予想していましたが、短いというよりも、「アツという間」という言葉の方が当てはまるくらいの短さだったように思います。しかし、短い中にも着実に成果の表れた学期でもありました。少し振り返ってみたいと思います。

参観日 ありがとうございました

2月1日の参観日は、前夜に降り積もった雪のため、お足元の悪い中でしたが、多くの保護者の皆様に来校いただき、ありがとうございました。グラウンドが駐車場として使用できませんでしたが、校舎周辺に整然と駐車していただいたり、相乗りでお越しいただいたり、ご協力いただきましたことに、重ねて御礼申し上げます。

授業を参観して回ると、右の写真のように保護者の方々にもご参加いただいて、授業をしている学級がありました。一つ目が百人一首をしていた学級です。先生が読み手となり、生徒と保護者で五人程度のグループに別れて、楽しそうにやっていました。時々伸ばした手が相手と重なると歓声が上がっていました。

二つ目はバドミントンをしていた学級です。最初は親子ペアで試合を行い、続いて生徒ペア対保護者ペア、最後は自由にと、少しずつペアが変わっていききましたが、後半は保護者の方からペアに誘ってくださったりして、有り難かったです。PTA学年部から提案していただいた親子レクリエーションの新しいスタイルは大変好評でした。



中学校説明会

2月14日に、来年度入学する生徒のための中学校説明会があり、全校音楽集会の様子を児童と保護者に参観してもらいました。中学ではこの時期、卒業式に向けての合唱練習に力が入ってきます。パート練習や学年ごとの練習を何度も繰り返して、いよいよ全校で初めて合唱する日の参観となり、若干心配もありましたが、どのパートもしっかり音が取れていてきれいなハーモニーを感じるところがいくつもありました。また、何回も歌って練習を重ねる度に声もさらに出てきました。練習の途中段階ではありましたが、6年生や保護者が真剣に聴き入ってくれたことも良かったです。

全校音楽集会のあとは、1学年の方から学校生活の説明を行いました。その冒頭で、インフルエンザによる学年閉鎖のために出場できなかった佐久地区合唱交換会で歌う予定だった学年合唱曲「きみにとどけよう」を披露しました。きっと、「自分たちも入学して1年後にはこんな合唱を歌えるようになるのかな?」と、1年後の自分たちを想像しながら聞いてもらえたのではないのでしょうか。



百人一首クラスマッチ

2月15日、1・2学年で百人一首クラスマッチが行われました。各クラスの代表者が4人一組になって競いました。和やかな雰囲気スタートしましたが、歌が詠まれ始めると空気が一変しました。真剣勝負の表情に切り替わり、耳を澄ませて札を凝視します。一瞬時が止まり、次の瞬間には誰かが札を取り、歓声があちこちであがります。スポーツ系のクラスマッチとは違い、静かな中にも白熱した戦いとなりました。

<生徒の感想より>

・いつものクラスマッチではない形で、他クラスと交流ができて楽しかった。(2年男子)



- ・クラスでたくさん練習した結果、優勝できて嬉しかった。(1年女子)
- ・運動はあまり得意ではないので、こういうクラスマッチがいい。(1年女子)

3 学年放課後学習

10月31日から2月27日までの水曜日の放課後、地域の学習支援ボランティアの方6名に来校していただき、3年生の学習を支援していただきました。生徒が個人でやりたい学習内容を用意してきて、1時間自習をしているところを、ボランティアの方々が巡回してくださり、わからなそうにしている生徒に声をかけてたりして、積極的にかかわっていただきました。今年度は全14回ということで、昨年度の2倍も来ていただきました。利用した生徒たちは、毎回落ち着いて学習に取り組むことができました。最終回には「終わりの会」を行い、ボランティアの方お一人ずつから受検に向けた応援メッセージや放課後学習で頑張っていた姿など、温かいお言葉をいただきました。また来年もお願いできればと思っています。

＜生徒代表の言葉＞

数学の問題でわからないところを質問したとき、ボランティアの方がわかりやすく丁寧に教えてくれました。優しい雰囲気ですべて接していただいたので、何度も質問することができました。問題を解いている時によく声をかけてもらい、積極的に交流していただき、大変お世話になりました。ありがとうございました。

学校評価アンケートの結果について

二学期末に実施しました学校評価アンケートには、多くの保護者の皆様よりご回答をいただきありがとうございました。結果についてまとめましたのでお知らせします。また、多くの貴重なご意見もいただきました。これらにつきましては全職員で共有し、今後の学校運営にいかして参りたいと思います。

【学校評価アンケート 生徒・職員・保護者 対照表より】

「とてもそう思う」…5点から「まったく思わない」…1点まで、合計し平均を算出しました。

質 問 項 目	生徒	職員	保護者
1.わかりやすい授業	4. 0 3	3. 4 6	3. 1 3
2.学習課題に対して深く考える場面の多い授業	3. 8 1	3. 3 3	3. 0 9
3.生徒の悩みやトラブル、相談事に誠実に耳を傾けながら対応	3. 9 6	4. 0 0	3. 2 3
4.学校行事や学年行事は適切に運営	4. 1 9	3. 6 4	3. 8 7
5.きまりやルールを育てている	4. 1 9	4. 0 0	3. 4 9
6.あいさつがしっかりできている	4. 0 3	2. 9 3	3. 5 8
7.生徒は、自分の進路について真剣に考えている	3. 9 4	3. 3 2	3. 2 7
8.生徒は家庭学習に毎日取り組んでいる	3. 8 6	3. 3 5	3. 8 5
9.子どもは学校生活が楽しいと感じているか	3. 5 9	3. 5 4	3. 7 3
10.いじめのない安心・安全な学校・学級・集団づくり	3. 8 2	3. 8 2	3. 2 2
11.家庭学習の充実に向けた情報提供や支援を心掛けている		3. 2 7	3. 0 9
12.学校は自分たちの健康増進のための取り組みを行っている		3. 5 5	3. 2 2
13.学習や生活がしやすいように教室環境や施設・設備を整備している		3. 5 5	3. 1 8
14.生徒のよさを認めた評価を心がけている		3. 8 1	3. 2 2
15.ホームページや各種通信発行によりわかりやすく情報発信している		3. 4 6	3. 0 7
16.保護者が相談しやすい雰囲気		3. 5 6	3. 0 6

17.保護者・地域の意見や要望を反映した学校運営		3. 5 6	2. 9 8
18.本年度の重点事項について、学校の取り組みは成果が上がっている		3. 5 8	3. 0 8
19.本校の教育活動は充実している		3. 5 6	3. 1 1

【保護者アンケート 自由記述欄より 主として今後改善すべき点を抜粋】

<授業・学習・評定について>

●授業ですが、子ども達が楽しくできるよう進めていただきたいです。「つまらない」「何を言っているのかわからない」ではなく、黒板に書いていることをノートに写し、内容が理解できなければ授業時間がムダになってしまいます。先生により教え方はあると思いますが、改善をお願いします。(1年)

●学習面でわからない時、先生に言いづらいと聞くので、勉強が辛い様子が見られる。話しやすい子ばかりではないので、気にかけてほしい。(1年)

●学習面での取り組みについて、クラス間の差が大き過ぎる。担任の先生の力量なのか、先生が中心になり一生懸命やっているクラスと、全く何もないクラスがある。生徒は担任を選べない。2年生はいよいよ3年生となり、受験を迎える学年となる。クラス単位での取り組みは先生の力量に左右されるので、学年単位で取り組んでほしい。また、授業が荒れていることがあると子どもから聞くが(先生の話聞かない・しゃべるなどで授業になっていない)、担任の先生に聞いても「だいぶ落ち着きましたよ」と言われる。先生は自分の担当の授業以外のことを、どれだけ分かっているのだろうか?と心配になる。(2年)



<部活動について>

○今年度より朝部活がなくなりましたが、子どもの生活に余裕ができ、かえって落ち着いた生活ができるようになりました。いろいろな意見があるとは思いますが、学校内の活動なので、今の状況はとても良いと思います。(3年)

○朝部活なし・土日どちらかのみ活動を実現していただいて、本当によかったです。ありがとうございました。(1年)

○数少ない部員数にもかかわらず、充実した練習時間を作って下さり感謝しています。(2年)

●部活について、朝練は一旦無くなったのだから、大会前でも放課後だけで補ってほしい。(1年)

●休みの日など、部活が多い。中学生は生きていく中で勉強がとても大切な時期なのに、延長部活など7時までで、家に帰りご飯を食べ、勉強する時間が少なくなってしまう。学力が落ちてしまいそう。(落ちている)(1年)

●朝部活もなく、放課後の部活動時間も少なく、土日どちらか3時間程度では、他の中学校の生徒と比べて体力がつかないと思うし、勝てる訳がないと思います。学力の向上にも部活動の厳しさは比例していくと思います。(1年)

●部によって活動時間、保護者負担の差が違いすぎます。平日の学校よりも土・日の部活動時間の方が長い。毎週の遠征による費用・送迎等の負担が重いです。学校の規則通り活動している部に入部者が多いようにも感じます。顧問の先生、子ども達の頑張り、熱意は素晴らしいと思いますが学校側としてももう少し規則に沿った活動になるよう改善してほしいです。子どもも少々疲れているように思います。顧問の先生の体調も心配です。(1年)

●部活動での先生の注意の仕方では気になる場面があった。ただ大声で注意するのではなく、他校生の前で注意するのは配慮が必要だと思う。(1年)

●忙しい中での部活動の指導をして下さることに感謝ですが、土日の部活動の時間の徹底さが少しあやふやだったり、先生や外部指導者とのコミュニケーションのあり方が少し不公平にされている子もいる。部じゃない第三者が見に来たり、相談窓口があるなら、あることをしっかり知らせてほしい。無いならば、あってもいいと思う。(2年)

<生活面について・その他>

●上から目線の先生が多く感じます。教えてやっている感がすごい。子ども目線の先生がいないので子ども達は息苦しいと思います。(1年)

●先生によって、生徒への指導力に大きな差があるように感じます。親身になって生徒の心を大切にしてくださる方と、生徒の意欲をつぶすような対応をされている方とがいらっしゃるように感じます。(2年)

●体罰はなくても、言葉でも生徒は傷が付く。体の傷はいずれ完治しますが、心の傷は…。先生が甘すぎるのも…どうかとは…。(2年)

●ただ注意するだけでは、子どもの反発心にスイッチが入るだけだと思う。悪いことをしたら叱ってもらうことはもちろん大事ですが、また違った場面ではその子の良いところをほめたり、先生の方から仕事を頼んで後でお礼を言ったり、仕事のできばえを認めてあげたりといったやりとり(つながり)も大事だと思う。そういういい雰囲気での距離の近さを子どもは待っていると思う。(1年)

●担任は生徒の悪い所だけに目がいくのか、良い所をほめて伸そうとする気が無いように見える。(3年)

- 道も2列、3列、時には道いっぱい歩いてるので、やめてほしい。(3年)
- 参観日などに学校へ行くと、廊下などですれ違った子どもたちのうち、自分から「こんにちは」と元気よくあいさつしてくれる生徒の方が少ないように感じた。あいさつは中込中の重点の一つになっているとどこかで見たと思うが、どんな取り組みをしているのだろうか。(2年)
- 三役を決める代表の選出を支部から出すのはやめてほしい。少ない人数の支部は、必ず支部の役をやるので負担が大きいです。(2年)



【学校より】

＜授業・学習・評定について＞

学習面について、「生徒・職員・保護者アンケート対照表」の1番「わかりやすい授業」で、72%の生徒が「どちらかといえばそう思う」～「そう思う」と回答しており、多くの生徒がわかりやすい授業であると感じています。また、2番「学習課題に対して深く考える場面の多い授業」も同様な傾向となっています。一方で、9%の生徒が「わかりやすい授業とはいえない」と回答しています。この生徒たちにとっても「わかりやすい授業」だと感じてもらえるよう、授業改善をしていかなければなりません。生徒のアンケートは、各学級の教科ごとに集計を出しており、教科会等で現状を確認するとともに、教師一人ひとりが自分の担当している学級の授業を振り返っています。学校だよりの第7号にも掲載しましたが、今年度は社会科・理科・美術・英語・道徳の研究授業を行ったほか、道徳については7学級で授業を見合っており、授業改善に向けた取り組みが継続される中、今回のアンケートは授業を行う教師にとっての大切な振り返りとなりました。

＜部活動について＞

今年度より朝部活を無くしたことについて、11月に部活動アンケートを実施させていただき、結果を11月19日に開かれた部活動運営委員会でご報告するとともに、学校だよりの第7号に掲載させていただきました。生徒・保護者とも「原則なし」でよいとする回答が最も多いのが1年生、次いで3年生、2年生となっていました。2年生の生徒は「原則なし」にそう思わないと回答する割合が最も多く、2年生にとっては新人戦や夏季大会に向けて、活動を十分行いたいという実感をもっているためと考えました。保護者はいずれの学年も「原則なし」でよいとする割合が最も多くなっていました。全体でも、今後も「朝部活動は原則なしでよい」と回答する割合が生徒・保護者・職員で最も多くなっていました。

◎今後も県や市の方針に沿い原則朝部活無しでいきますが、今回のような検証を行うことも大変重要であると感じました。アンケートへのご協力ありがとうございました。

◎冬期の部活動についても朝部活は無しですが、今年度は年間計画の中で12月～1月に5時間授業の日を計画的に設けることや、懇談会・各種検定などを含めると、月の半分は放課後1～2時間の活動が可能となり、ある程度の活動時間が確保できます。実際に活動するかどうかは、生徒・顧問・保護者で相談の上決定となります。

◎外で活動する部活が冬期にグラウンドやテニスコートが使えなくなるので、体育館を使わせてほしいというご意見が出されました。室内の部活動と協議の上、屋外の部活動も体育館を利用できるよう顧問会を開いて検討しました。必要に応じてバランスをみながら対応していきます。

◎部活動についてご心配なこと・ご相談したいこと等ございましたら、教頭までご連絡ください。

＜生活面について・その他＞

・生徒に対する先生のかかわり方について、たくさんご意見をいただきました。日頃から生徒の良いところはしっかり褒めて伸ばそうとしながら、悪いことをしたら叱るといったメリハリのある指導を心がけ、生徒とコミュニケーションがとれるようにすることが必要だと感じました。いくら本当に伝えたいことでも、その伝え方によって全く受け入れてもらえない状態になってしまうとすれば、それはもはや教育ではなくなってしまいます。話し方や注意の仕方傷ついたり反発心を抱いたりする生徒もいることに留意することや、日頃のコミュニケーションで話しやすい雰囲気を作ることを大切にしていきたいと思えます。

・「生徒・職員・保護者アンケート対照表」の三者を比較してみると、意識のズレが見えてきます。具体的には、1番「わかりやすい授業」、2番「学習課題に対して深く考える場面の多い授業」、3番「生徒の悩みやトラブル、相談事に誠実に耳を傾けながら対応」、6番「あいさつがしっかりできている」、10番「いじめのない安心・安全な学校・学級・集団づくり」、17番「保護者・地域の意見や要望を反映した学校運営」などが、三者の数値に開きが見えます。このズレがどこから来ているのか考えていきたいと思えます。

今回、このアンケートを通して多くの貴重なご意見をいただき、来年度の学校運営に向けての方向や課題を明確にすることができました。ありがとうございました。生徒の健全な成長と学力の向上は、家庭と学校の共通の願いです。今後も連携しながらよりよい学校づくりを推進できますよう、ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

